

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	マーケットニーズに応える松川村産果樹・米・野菜生産とブランド化～新型コロナウイルス感染症拡大の影響や経営環境の変化を勝ち抜く生産者の育成と果樹を中心とした強固な産地作り～
事業主体 (連絡先)	一般社団法人あつぷるぼういず (北安曇郡松川村5651番地218)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (イ農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,523,485 円 (うち支援金: 1,172,000 円)

事業内容

- ① 畦畔管理の機械化を図り、水田や耕作放棄地の畦畔管理の受託面積を増やす。
- ② 松川村内外で企画されているマルシェやクラフトビールフェアに出店するための TENT 等の購入。
- ③ 消費動向調査を行い、長野県オリジナル品種(りんご)の認知度と評価の確認。
- ④ 松川村産米、ぶどう、桃の消費動向調査



【畦畔管理の様子】

事業効果

- ① 畦畔管理の請負数 150 枚から 246 枚に増加。景観維持と通学路の安全性を確保。
- ② イベント活動備品を使用し松川村クラフトビールフェスや大王わさび農場において、果樹、松川村産の米、野菜、しいたけ、農産物加工品も販売した。
- ③ 市場評価が高かった品種は「シナノリップ」「シナノスイート」「シナノゴールド」だった。オリジナル品種の認知度は向上しているが、関西ではほぼ皆無。
- ④ ぶどうは「シャインマスカット」は反応薄、「ナガノパープル」を求める声の方が多かった。桃は、「黄金桃」「あかつき」が食味の良さで高評価。松川村産の桃は肉厚でしっかりしているという評価を得た。米は販売に行くと必ず地方発送の注文をいただいた。販売機会の創出と生産者の意識向上が必要。

【目標・ねらい】

- ① 農地の維持と農山村の景観保全、魅力ある観光地を形成
- ② 新規就農者の販売機会創出と松川村産農産物の PR
- ③ りんごの新植改植の品種選定
- ④ りんご以外の果樹の生産拡大

※自己評価【B】

【理由】

畦畔管理やりんごの市場調査及び産地の PR は順当であった。しかし、その他果樹や松川村産米に関しては、評価は高かったものの消費者の認知度が極めて低く、さらなる活動が必要と感じた。

今後の取り組み

農業従事者の減少が続くなか畦畔の管理は大きな問題となっているが、今回の農場機械導入とマーケットニーズにあった果樹産地の形成は、農業の振興と農山村づくりの鍵となることを実感した。

今後は、今回の市場調査を経て把握したマーケットニーズに合った農産物の生産(農業振興)と観光資源でもある魅力のある農山村づくりを行い、移住者や新規就農者が参画できる環境を作っていきたい。

自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある